

令和元年度 宮の原小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

基本目標 豊かな人間性を持ち、主体的・創造的に生きていくことができる健康でたくましい子どもの育成
 ・目指す児童像 「本気で学べ」「元気に遊べ」「正しく生きよ」「喜んで働く」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

人間尊重の精神を基盤とした全教育活動を通して、学校教育目標の具現化を進め、児童一人一人の有する能力を伸ばしつつ、社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うとともに、保護者及び地域住民との連携・協働により、地域とともにある信頼される学校づくりを推進する。

- ・学びのある学校……豊かな体験を通して、自信をもち自立した子どもを育む学びのある学校
- ・仲間のいる学校……友達と活動し、共に生きる喜びを感じる仲間のいる学校
- ・楽しい学校……夢の実現を目指して努力する子どもを支援する、楽しさのあふれる学校
- ・信頼される学校……家庭、地域と協働して子どもを育む、地域に開かれ信頼される学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 全教職員による目的の共有化、○J Tを意識した勤務と主体的な学校経営への参画促進
- (2) 指導力向上のための研修の充実、行動規範の徹底と危機管理等に関する意識の向上、働き方改革の推進
- (3) 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む教育の実践《けやきプラン2018》
- (4) 地域とともにある学校づくりと地域に根差した取組の推進
- (5) ○小中一貫教育の推進（地域学校園としての研究推進）

【一条地域学校園教育ビジョン】 基本をしっかり身に付け、地域に生きる子どもを育む一条地域学校園

4 教育課程編成の方針

- (1) 各教育関連法に従うとともに、第二次「教育推進計画」「学校教育スタンダード」を踏まえ、本校教育目標が具現化されるよう調和と統一のある教育課程を編成する。
- (2) 授業時数については、国及び市の標準時数を確保しながらも、学校行事その他の部分においては、新天皇即位に伴う休業日増や創立周年行事の年度というイレギュラーな年と考え、教育課程の実施にあたっては、柔軟に対応するものとする。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・「宮小けやきプラン2019」の推進による特色ある教育活動の推進
- 「小中一貫教育と地域学校園」の取り組みの推進

【学 習 指 導】

- ・自分の思いや考えをもち、伝え合い学び合うことができる児童の育成

【児 童 生 徒 指 導】

- ・人とかかわりを通して、決まりを守ったり人を思いやったりすることができる児童の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・自らの健康と安全に関心をもち、進んで体力づくりに励む児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 児 童 の 姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」⇒児童の肯定的回答 85%以上	・学習意欲を向上させるために、魅力のある学習課題の設定及び提示の仕方を工夫する。 ・学習活動の中に話合いの機会を増やし、互いに学び合い、深め合う良さを理解させ、積極的に話合いに参加できるようにする。 ・安心して発表できる、認め合い、励まし合う教室環境作りに努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」⇒児童の肯定的回答 85%以上	・道徳の時間を核として、教材や物語の人物の行動や心情から思いやりの心の大切さを感じたり考えたりする機会を増やす。 ・日常生活の中で、児童の親切な行動を称賛したり、紹介したりしていく。 ・児童がお互いのよさを認め合い、相手の気持ちや状況を考えて行動できる人間関係と環境作りに努める。 ・教師自身がモデルであることを意識し、児童に温かい心で接する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」⇒児童の肯定的回答 85%以上	・「宮小3つの約束」「宮小こどものきまり」「学びのマナー」を活用し、望ましい行動習慣の形成に努める。 ・生活目標について全職員で共通理解しながら継続的に指導すると共に、振り返りカードを活用して指導の充実を図る。 ・「生活目標ふり返りカード」を活用することで、さらに意識付けを図る。 ・「宮小キラリ賞」を設定し善行を奨励する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」⇒児童の肯定的回答 90%以上	・小中学校・家庭・地域と連携した「みやのはらあいさつ運動」を継続し、あいさつの定着を図る。（「みやのはらあいさつの日」毎月1日） ・教職員が率先してあいさつをする。 ・道徳や特別活動を中心に、発達段階に応じて、具体的に指導する。 ・児童会のあいさつ運動を実施し、意識を高めるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートの「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」⇒児童の肯定的回答 80%	・学習や活動において、目標を明確にし、ゴールを意識させることで、児童が見通しをもって努力し続けることができるようにする。 ・自分のよさを伸ばしたり、苦手を克服したりするために自分なりの目標を設定して努力できるように励ます。 ・学び合う場や協力し合う場を意図的に設定し、共に高め合い、励まし合いながら取り組むことができるようにする。 ・受容的な態度や温かいコメントを心掛け、児童が学びたくなる教室環境を整える。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」⇒児童の肯定的回答 80%	・「食育だより」や「保健だより」を発行して、児童や保護者に健康についての意識付けを図る。 ・児童委員会を中心にイベントを行ったり、養護教諭や学校栄養職員が保健指導や食育指導に積極的に関わったりすることにより、健康について身近に考える機会を増やす。 ・月 1 回の登校指導や、週 1 回の下校指導、また、定期的な登校班長会議を行い、継続的に安全な登下校の指導を行う。 ・地震・火災、不審者対応、竜巻等あらゆる災害を想定した避難訓練を行い、安全な生活の意識付けを図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】全体アンケートの「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」⇒児童の肯定的回答 80%	・学問、スポーツ、芸術など様々な分野で活躍している人の生き方を紹介し、目を向けさせ、夢や目標をもたせる。 ・委員会活動、清掃活動、学級での当番や係活動などを通して、働くことの喜びや役割を果たす大切さやを味わせる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、外国語活動の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」⇒教職員の肯定的回答 85%以上	・スモールトークを積極的に活用し、教師と ALT のやり取りから教師と児童とのやり取りへと繋げていく授業づくりをする。 ・児童同士が積極的に英語を使ってコミュニケーションを図れる場面を設定する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】全体アンケートの「私は、宇都宮の良さを知っている。」⇒児童の肯定的回答 80%以上	・生活科・社会科・総合的な学習における校外学習、地域人材との協力の中で、地域や宇都宮に興味をもてるよう学習を進める。 ・宇都宮市のイベントや行事などのお知らせを配付する際には、宇都宮の良さを知らせるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」⇒児童の肯定的回答 85%以上	・児童が ICT 機器や図書資料を効果的に使える授業づくりを行い、児童が機器や図書に触れる機会を設定する。 ・教職員が ICT 機器や図書資料を授業の中で効果的に使用することで、学習効果を高めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」⇒地域住民の肯定的回答 85%以上	・高齢者に対する感謝の気持ちをもてるよう、低学年の生活科での昔遊びや高学年の家庭科での手縫い等、教えていただく機会を授業の中に設定する。 ・道徳の授業を通し、高齢者に対する思いやりの心をはぐくむ指導をしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」⇒児童の肯定的回答 80%以上	・休み時間ごとに教室の電気を消す、水を出しっぱなしにしないなど、身近にできるエコを推進する。 ・各委員会活動を通して、牛乳パックのリサイクルや古紙回収などを行い、環境保全の意識を高めていく。 ・生活科、理科、道徳の授業を通して動植物の大切さを指導していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
目 指 す	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童（生徒）や外国人児童（生徒）等の実態に応じて、適切な支援をしている。」⇒教職員の肯定的回答 85%以上	・校内での実態調査や校内支援委員会で上がってきた児童に対して、情報を共有するとともに、個別の支援を行う。 ・読み書き計算については、MIM、ステップアップタイムなどを活用し、つまづきに対応する。	【達成状況】 【次年度の方針】

学 校 の 姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心にしてくれ。」⇒児童の肯定的回答90%以上	・いじめに関するアンケートや教育相談を有効に活用し、事実の把握に努めると共に、いじめは許されない行為であることを徹底できるよう、様々な機会を生かして継続的な指導を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】全体アンケートの「先生方は、一人一人を大切にし、児童（生徒）がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」⇒児童の肯定的回答85%以上	・日常生活の中で自己有用感を感じられるように配慮する。 ・学級に居場所感があり、安心して学校生活を送れるように温かな言葉かけを意識したり教育相談を活用したりする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童（生徒）や外国人児童（生徒）等の実態に応じて、適切な支援をしている。」⇒教職員の肯定的回答85%以上	・本人や保護者の困り感に寄り添い、言葉の面で個別の支援が必要な場合は、外部機関や保護者と相談の場を設けるなどして、困難さを軽減できるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケートの「私は、今の学校が好きです。」⇒児童の肯定的回答90%以上	・縦割り班活動等の充実や、児童会主体のあいさつ運動・いじめゼロ運動、スポーツ大会実施等を通して、主体的に「人とかわる力」を育てる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケートの「先生方は、勉強を分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」⇒児童の肯定的回答85%以上	・とちぎっ子学習状況調査や全国学力・学習状況調査の結果を十分検討し、児童の実態に即した内容の指導の工夫を行う。 ・全校体制で、課題の明確な提示や分かりやすい発問・板書を工夫し、児童一人一人が分かる授業を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】

A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」⇒教職員の肯定的回答 85%以上	・校務分掌や学習指導、児童指導等において、OJTを実施していく。 ・個々の役割と責任を明確にした上で、同僚に対する気配りをしながら、相互に協力して業務を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	・電子掲示板による連絡、会議資料のデジタル化により、業務の効率化を図る。 ・教職員自身が出退勤管理を適正に行うとともに、月1回以上のリフレッシュデーを設け、定時退勤を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	・地域や学校園と連携した「あいさつ運動」を継続して行い年3回小中合同で実施する。 ・6年児童が中学校の合唱コンクールに参加したり、クリーンアップキャンペーンに中学生が来校し、地域住民や保護者、小学生とともに校庭清掃を実施したりして、小中が連携した取組を実施する。 ・学習や体力の向上、図書館教育、食育など様々な領域において学校園で取り組んでいることを児童に還元し、周知に努める	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」⇒児童の肯定的回答 85%以上	・あいさつ運動やクリーンアップキャンペーン、地区文化祭、防災訓練等、地域と相互に協力しながら教育活動を行う。 ・地域協議会やPTA理事会等でそれぞれの意見を吸い上げ、児童の指導や教育活動の向上に活かす。 ・学習内容に応じて、地域人材や企業等を活用した授業を展開する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」⇒保護者の肯定的回答85%以上	・地域コーディネーターを活用して、教育活動全般にわたり協力を得られる人材を増やしたり、学校園で協力して人材確保に努めたりする。 ・街の先生・地域の人材の参画を得た授業や、企業の出前講座等を積極的に行い、地域の教育力をさらに学校に取り入れていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」⇒保護者の肯定的回答85%以上	・教職員による校内施設等の定期的な安全点検を行い、結果の共通理解を図るとともに、不備な点は早急に対処する。 ・校内や学校周辺で危険が予想されるときには、メールや学校だより等により周知を図るとともに、学校の取組を積極的に発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」⇒教職員の肯定的回答85%以上	・ICT機器を学習内容に応じて活用しやすいように整備する。 ・児童や教師のニーズ、学習や発達段階に応じた図書を整備していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B1 「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効活用し、学校経営の充実を図る。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、学校で課題となっていることを積極的に説明し、協議会の意見を反映している。」⇒地域住民の肯定的回答85%以上	・学校で課題となっていることを積極的に説明し、協議会の意見を反映するとともに、一体となって課題解決にあたる。 ・地域人材を活用したより効果的な体験活動を実施し、学校教育の充実に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 児童は、学校生活の中で、みんなのために、進んで活動したり働いたりしている。 【数値指標】学校独自質問の「わたしは、お手伝いや係の仕事、ボランティア活動などをしている」⇒児童の肯定的回答85%以上	・ボランティア活動について、児童会が主体となって朝会で呼びかけたり、活動の様子を学校だよりや学年だより、地域学校園だよりなどで紹介したりして、意欲を高めていく。 ・道徳の時間等でボランティアの意義や助け合うことの大切さを教え、日常生活での実践の場で指導する。	達成状況】 【次年度の方針】

	B 4 家庭学習を続ける習慣が身に付いている。 【数値指標】学校独自質問の「わたしは、学年の目標時間（学年×10+10分）以上宿題や自主学習をしている。」⇒児童の肯定的回答 85%以上	・毎日の宿題で基礎学力の定着を図る。 ・学年ごとに、発達段階に応じた自主学習の内容と方法を具体的に示し指導する。 ・家庭学習の定着の意義や学校での指導内容を、学級懇談会や学年だより等で保護者に知らせ、より一層の理解や協力を得られるように努める。 ・全校で共通した形式の家庭学習カードを活用して指導する。 ・「家庭学習強調週間」を実施し、取組の徹底・充実を図る。	達成状況】 【次年度の方針】
	B 5 児童は、本をよく読んでいる。 【数値指標】学校独自質問の「わたしは、本を読んでいる」⇒児童の肯定的回答 80%以上	・読書の質の深化を図るような図書室利用を工夫する（学校司書と連携した読書指導の実践・個に応じた選書支援（読書コンシェルジュ）・学校のオアシスとしての環境づくり、蔵書の充実）。 ・頑張る学校プロジェクト「宮小本はともだちプロジェクト」の実践、家読（うちどく）の奨励等を通して、家庭読書の充実を図る。 ・朝の読書15分間の充実、担任による読み聞かせなど、本に親しむ機会を増やすとともに様々な活動で図書室を有効に活用する。 ・多読者の表彰の場を継続して読書への意欲を高める。 ・読んだ本の感想を記録・蓄積し、共有する機会をつくることで、読書の幅を広げる。	達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。